

水草の種 冬の発芽方法



完成後(水を張った後)の管理について

- 冬の管理について** ●最低気温 10°C以上の場所で管理して下さい。
●水草は暖かい場所を好みます。
※暗い所では生育不良の原因になります。
△注意 ガラス容器に太陽の光が集まり「取れん火災」の原因になる場合がございます。十分にご注意下さい。
- 水換えについて** ●メダカと一緒にする場合
約1週間に一度、カルキ抜きをした水をきり程度足し入れて下さい。
●水草のみの場合
約1週間に一度、カップを使うなど水草やソイルが舞わないようゆっくり水を入れ換えましょう。
※ガラス面の汚れは、スポンジなどでやさしく拭き取って下さい。
- 水草について** 水草は注水することで、葉そのものが伸びて茂っていきます。水景維持の為にトリミングをおすすめします。
●トリミング…水草用ハサミを使って水草を整える方法です。
- 水草の肥料について** 水草を長く楽しむ為に、水草に活力を与える役割として市販の水草用肥料をお買い求め下さい。
※完成後しばらくは必要ありませんが、アクアリウム用栄養剤や固形肥料など適宜与えて下さい。



水草の種を ご購入のお客様へ

水草の種の発芽適温は 20°C～ 35°Cです。
20°Cを下回ると発芽率が著しく低下し、うまく生長しない場合があります。
このリーフレットでは室温が 20°C以下になる冬場に、水草の種を発芽させる方法をいくつかご紹介しております。冬場でも水草栽培を楽しんでみてはいかがでしょうか？

季節や周辺環境により、温度は変化します。設置されるご予約の周辺温度を把握された上、購入をご検討ください。

水草の種キット 冬場の発芽のコツ

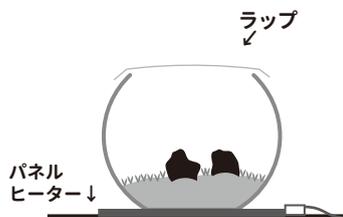
※こちらに記載の方法例はあくまでも参考例であり、発芽を保証するものではありません。

完成後(発芽から1ヵ月程度以降)は 20°C以上に保つ必要はございません。

発芽方法 例①

パネルヒーターを使用する

ペットコーナーなどに販売されているパネルヒーターを使用し、底面からガラス容器越しに温度を上げ、発芽を促進します。



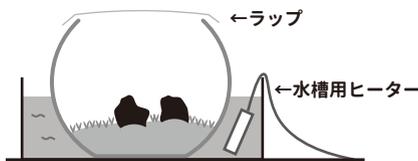
注意事項

- ・水がヒーターにかからないよう注意してください。
- ・夏場にヒーターを使用すると高温になりすぎて、水草が枯死する場合があります。

発芽方法 例②

ガラス容器の周りの水温を温める

- 手順① 水槽など水の溜まる容器を用意し水を溜めます。
手順② 種を撒き、セット済みのガラス容器を水を溜めた容器の中心に置きます。
(この時、水位によってはガラス容器が浮いてしまう場合がありますのでご注意ください)
手順③ 水の溜まる容器の水を水槽用ヒーターなどで温めます。



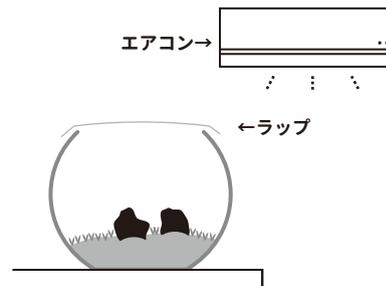
注意事項

水温が上がりがすぎないよう、水温計で水温を確認してください。

発芽方法 例③

エアコンで部屋ごと暖める

エアコンを使用し、部屋を常時暖める方法です。発芽期間の1ヶ月程度は室温が 20°C以上になるように設定してください。



注意事項

部屋の温度が下がりがすぎないよう、温度計などで室温を確認してください。(特に夜温)

お願い 各電化製品をご使用の際は、仕様書、取扱説明書など、よくお読みいただき、使用方法を守って正しくお使いください。